

特集 大切な命を守る! 火災予防と熱中症予防

～札幌市消防局からのお知らせ～

今年度は**火災による死者**が増えています！

令和3年1月1日～5月31日までの期間中、火災による死者数は前年比で約**4倍**となっています！

大切な**命**を守るため、札幌市消防局から火災予防について**3つ**、
また、**暑い夏**を乗り切るため、**熱中症予防**について**1つ**お知らせします。

Case
1

初期消火にご注意を ～消火時にも命の危険編～

←「命」のターニングポイント→

火災の第一発見者として初期消火を試みるあなた。判断次第では、命を落としてしまう場合があります。
あなたの命を守るため、ご家族が悲しまないためにも「消火 or 避難」のターニングポイントをお伝えします！



ターニング
ポイント

- ① 煙が室内に充満した時
- ② 火が天井付近まで燃えた時
- ③ 身体に熱を強く感じた時



1つでも当てはまったら
すぐに避難して

119番

Case
2

あなたの家は大丈夫?? ～住宅用火災警報器が鳴らない編～

〈実際の事例〉

一般家庭で使用済みの天ぷら油を油処理剤で固めようと、IHこんろの温度設定をせずに**加熱したまま放置**してしまつたところ、鍋の中の天ぷら油が過熱発火した。住宅用火災警報器を設置していたが**電池切れ**のため作動せず、発見が遅れて**火災**へと発展してしまつた。

住宅用火災警報器は、
10年を目安に交換をおすすめします!

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、
火災を感知しなくなることがあるため、とても危険です。10年を目安に交換しましょう。



Case
3

自動消火装置設置費助成事業実施中！～安全・安心消火編～

高齢者を対象に自動消火装置設置費助成事業を実施しています！！

助成対象

市内居住の65歳以上の**高齢者のみ**で構成される世帯

助成限度数

1世帯につき**2台まで**
(こんろ、ストーブへの設置を想定)

助成額

自動消火装置の購入・設置に要した費用の**9割**を助成します。ただし、1台あたり**28,700円***を助成限度額とし、超過分は全額自己負担となります。

※「札幌市重度障がい者（児）等日常生活用具給付事業」における自動消火装置の給付基準額と同額

助成額と申請者の自己負担額

例 購入・設置費が**40,000円**の場合



※助成額(9割)が28,700円を超える場合は、超過分を申請者が全額自己負担することとなります。

申請の手順

※申請書提出先は、消防局予防部予防課（電話番号等は、下記「お問い合わせ先」を参照）

- 1 申請者は、本事業の販売業者として事前に届出を行なった「登録販売店」に連絡し、自動消火装置の設置に向けた相談や見積書の作成依頼を行う。
- 2 申請者は、登録販売店から申請に必要な書類一式・見積書を受領し、札幌市に必要な書類（見積書添付）を提出する。
- 3 札幌市による、申請内容の審査後、「助成金交付決定通知書」が申請者へ送られる。
- 4 申請者は、登録販売店に助成金交付決定通知書を提示して、自動消火装置の購入・設置を申し込む。この時、助成金の請求・受領に関する一切の権限を登録販売店に委任する。
- 5 登録販売店は、申請者宅への設置工事を行う。
- 6 申請者は、助成金を除いた自己負担金を登録販売店に支払う。

【お問い合わせ先】 消防局予防部予防課防火安全係

住所：札幌市中央区南4条西10丁目 消防局3階 TEL：(011)215-2040

Case
4

暑い夏を乗り切るために! ~熱中症予防編~

熱中症にならないために

熱中症は予防が大事!

暑さを避けよう



涼しい服装、日傘や帽子
などを着用しましょう。

汗をかいたら塩分を摂ろう



のどが渴いていなくても、
こまめに水分補給をしましょう。

こまめに水分補給をしよう



2m以上



水分補給などでマスクを外すときは、
十分な距離をとりましょう。

熱中症ってどんな症状?

1. めまい、立ちくらみ、筋肉痛
2. 頭痛、吐き気、倦怠感
3. けいれん、発熱

最悪、死亡することもある

体調に異変を感じた時は
早めに休息を



熱中症の応急手当



涼しい場所や日陰へ移動する

首の周り、脇の下、太ももの付け根
など太い血管を冷やす

うちわや扇風機などで身体を冷やす

飲めるようであれば、
水分をこまめに取らせる